

牧之原市監査委員告示第 12 号

地方自治法（昭和 22 年法律第 67 号）第 199 条第 14 項の規定に基づき、牧之原市長から監査の結果に基づく措置を講じた旨の通知があったので、次のとおり公表する。

令和 5 年 3 月 29 日

牧之原市監査委員 飯塚 貴穂  
同 大井 俊彦



牧 総 第 331 号  
令和5年3月29日

牧之原市監査委員 飯塚 貴穂 様  
牧之原市監査委員 大井 俊彦 様

牧之原市長 杉本 基久雄



令和4年度 定期監査（前期）に関する報告及び意見に対する措置状況について

令和5年1月20日付け牧監第108号により通知のあった令和4年度 定期監査（前期）に関する報告及び意見について、別紙のとおり措置状況を報告します。

担当 総務部総務課  
2332～2334



## 令和4年度の監査指摘事項に対する措置状況について

総務課

令和4年度の定期監査において、監査委員が指摘（意見・要望）した事項に対する措置状況

監 査 指 摘 事 項	措 置 状 況
<p>職員の自主研修に対して支援する自主研修補助金は、職務遂行上必要とする専門的な知識の習得を支援するものであるが、職員からの申請件数は少ない状況にある。このため、研修の内容や望まれる効果・成果等を積極的に周知していくことで研修への理解促進に努め、研修参加者の増加と職員全体のスキルアップに繋げてほしい。</p>	<p>通信教育等を活用した自主研修については、研修講座の一覧を職員に示し研修への参加を促していましたが、講座の数が多く業務に直結する効果や成果が得られるか等が明確にできていない状況もありました。令和5年度におきましては、これまでよりも多くの職員が講座を受講する動機付けとなるよう、研修担当において、業務に直結するものや効果的なものを主眼に、提示講座の選別を行っていきます。</p> <p>また、通信教育だけでなく、県等が実施する研修等に参加する機会を多く提供することで、職員の個人スキルを高め、職員全体の能力の向上を図っていきます。</p>

## 令和4年度の監査指摘事項に対する措置状況について

管理検査課

令和4年度の定期監査において、監査委員が指摘（意見・要望）した事項に対する措置状況

監 査 指 摘 事 項	措 置 状 況
<p>学校再編に伴い、令和12年度には市内小中学校10校が閉校となる見込みである。そのため、学校跡地の有効活用を図るために市民の要望・意見等を把握しておく必要があることから、今後、意向調査等を実施するとのことである。ついては、この調査結果などを参考に検討を進めることで事業の円滑な推進に努めていただきたい。</p>	<p>現在、閉校となる10校の学校区において、「これからの地域がどんな地域になったらよいか」をテーマに意見交換会を実施しています。</p> <p>また、令和4年度、民間事業者による可能性調査も実施しており、これらを踏まえ、令和5年度に再び地域の皆さんと意見交換等を行い、検討案の作成をしていく予定です。</p>

## 令和4年度の監査指摘事項に対する措置状況について

危機管理課

令和4年度の定期監査において、監査委員が指摘（意見・要望）した事項に対する措置状況

監 査 指 摘 事 項	措 置 状 況
<p>(1) 消防水利の充足率については、現状70%と不足していることから、水道本管の布設替え工事などに合わせて消火栓を増設するなど、水道事業との連携により、消防水利の充足率向上に努めていただきたい。</p> <p>(2) 台風や竜巻等による突発災害の頻度が高まっている。このため、危機管理を担当する職員は勤務時間外的生活行動等においても制約されることがあり、精神的な苦労があるとのことである。日頃からの御苦勞に対し感謝申し上げます。</p>	<p>(1) 水道本管の布設替え工事などに合わせて消火栓を検討するなど、水道事業と連携して消防水利の充足率向上に努めていきます。</p>

## 令和4年度の監査指摘事項に対する措置状況について

デジタル推進課

令和4年度の定期監査において、監査委員が指摘（意見・要望）した事項に対する措置状況

監 査 指 摘 事 項	措 置 状 況
<p>DX（デジタルトランスフォーメーション）とは、デジタルツールを導入することが目的ではなく、その過程で業務を見直し、既存のやり方にとらわれることなく再構築を目指すことである。このため、DXの推進に取り組むことは自治体が抱えている問題を根本的に解決していくことに繋がることから、組織全体で取り組んでいく意識を持って、その推進に努めていただきたい。</p>	<p>令和4年度中に牧之原市デジタル化推進基本計画の見直しを行い、令和5年度からCIO（Chief Information Officer：最高情報責任者）として副市長を、CIO補佐官として外部専門人材を置くようにし、組織全体で取り組んでいくため執行体制の強化を図りました。</p>

## 令和4年度の監査指摘事項に対する措置状況について

秘書政策課

令和4年度の定期監査において、監査委員が指摘（意見・要望）した事項に対する措置状況

監 査 指 摘 事 項	措 置 状 況
<p>令和5年度から始まる第3次総合計画の基本構想及び前期基本計画については、市議会9月定例会において基本構想が議決されている。今後においては、前期基本計画における各施策の方向性や重点戦略・プロジェクトの具体化に向けて取り組んでいただきたい。</p>	<p>実施計画事業の充実に努めるとともに、令和5年度当初予算の編成において、重点戦略・プロジェクト事業に重点的な配分を行うなど、実施計画と予算編成との連携を強め、前期基本計画の具体化に向けて取り組んでいきます。</p>

## 令和4年度の監査指摘事項に対する措置状況について

地域振興課

令和4年度の定期監査において、監査委員が指摘（意見・要望）した事項に対する措置状況

監 査 指 摘 事 項	措 置 状 況
<p>少子高齢化や人口減少、価値観の多様化によって社会環境が変化する中で、地域課題は複雑化かつ多様化しており、様々な課題に対し、地域の自主性や主体性が発揮される地域づくりが求められている。そのため、ワークショップなどで意見や課題を集約する方法等により、地区の実情にあった持続可能な地域活動を支える仕組み構築のための検討を進めていただきたい。</p>	<p>主体的な地域づくりについては、各地区、自治会において、絆づくり事業、防災、福祉等さまざまな事業が、対話によりすすめられ、地域コミュニティの活性化が図られています。</p> <p>今年度、区長・区長代理研修会でワークショップを開催し、市と自治会で課題の共有を図り、その後自治会地区長会において、持続可能な組織づくりについて、4回にわたり協議を行いました。</p> <p>区・町内会など自治会では、役員の負担軽減など、地域の課題解決に主体的に取り組んでいます。</p> <p>市として、持続可能な地域づくりを支えるため、各地区、自治会への支援を継続してまいります。</p>



## 令和4年度の監査指摘事項に対する措置状況について

情報交流課

令和4年度の定期監査において、監査委員が指摘（意見・要望）した事項に対する措置状況

監 査 指 摘 事 項	措 置 状 況
<p>「多文化共生社会の実現」に向けた取り組みとして、「外国人相談窓口」の設置について検討を進めているところである。この相談窓口には、様々な内容の相談がくると想定されることから、何処にその相談内容を繋げるかなどの体制・組織づくりが必要であると考えられるため、その対応についての準備をお願いしたい。</p>	<p>外国人受入環境整備交付金における事業スキームとして各関係機関との連携が求められています。</p> <p>企業、日本語学校や労働局などの他省庁出先機関、また弁護士会やNPO法人や民間支援団体等と適宜、連携を密にしながら課題解決に向けて取り組んでいきます。</p>

## 令和4年度の監査指摘事項に対する措置状況について

財政課

令和4年度の定期監査において、監査委員が指摘（意見・要望）した事項に対する措置状況

監 査 指 摘 事 項	措 置 状 況
<p>大規模な事業が継続、また開始される中、市債残高の増加が予想され、将来世代への負担の増大が懸念される。このため、財源確保のための「事業見直し」などの対応策について検討していただきたい。</p>	<p>市債残高につきましては、ほとんどの建設事業に充当できるかなり有利な起債でありました旧合併特例事業債があったため、多額になってきたと考えています。</p> <p>合併後の市の一体性の速やかな確立を図るために行う公共的施設の整備や均衡ある発展に資するために行う公共的施設の整備、地域振興のための基金造成などを積極的に行ってききましたが、この有利な起債も令和7年度で終了しますので、今後はふるさと納税や企業版ふるさと納税などの取組を今まで以上に強化するなど、財源確保に努めるとともにより一層の事業の選択と集中を図り、限られた財源を有効活用していきます。</p>

## 令和4年度の監査指摘事項に対する措置状況について

環境課

令和4年度の定期監査において、監査委員が指摘（意見・要望）した事項に対する措置状況

監 査 指 摘 事 項	措 置 状 況
<p>新火葬場の整備については、昨年度までに選定した候補地の地元調整を引き続き進めるとともに、施設整備についての基本計画を策定することである。監査では工事着工や完成時期等の目処について伺ったが、基本計画の策定により、施設の概要、事業スケジュール及び事業費などが具体的に示されることになることから、その計画内容に沿った施設整備の推進に努めていただきたい。</p>	<p>新火葬場の整備につきましては、候補地に関係する区や町内会、地権者の皆様から御理解を得るために説明会等を開催し、様々な御意見を頂いている段階です。</p> <p>候補地の地元の皆様にまずは御理解をいただけるよう、周辺整備を含んだイメージ図の作成やスケジュール案、事業手法などを含んだ基本計画案の資料を作成し、新火葬場及び周辺整備に関してわかりやすい説明を行うとともに、先進地視察等により情報を提供するなどし、地元理解を得るよう努めていきます。</p>

## 令和4年度の監査指摘事項に対する措置状況について

市民課

令和4年度の定期監査において、監査委員が指摘（意見・要望）した事項に対する措置状況

監 査 指 摘 事 項	措 置 状 況
<p>消費生活相談員の確保のため、令和4年2月議会にて、消費生活相談員の任用の幅を広げるための条例改正（案）が議決された。そうしたことを踏まえ、今後においても、安定した消費生活相談員の確保のため、様々な方策に取り組んでいきたい。</p>	<p>消費生活相談員任用の募集にあたり、応募資格に「資格取得の見込みのある者」を加え、実務経験を重ねながら資格の取得を目指してもらえるよう柔軟な対応を取るとともに、センターで相談員の育成を図りながら、安定して確保できるよう取り組んでいきます。</p>

## 令和4年度の監査指摘事項に対する措置状況について

国保年金課

令和4年度の定期監査において、監査委員が指摘（意見・要望）した事項に対する措置状況

監 査 指 摘 事 項	措 置 状 況
<p>静岡県国民健康保険運営方針では、令和9年度までに保険料水準の統一が掲げられており、それに向けた取組みの一つに賦課方式の統一、資産割の廃止がある。牧之原市では、資産割廃止により代替の所得割などがどれくらい必要かを検証し、税率を見直すことになるが、その判断については慎重な対応をお願いしたい。</p>	<p>静岡県国民健康保険運営方針により、令和9年度までに賦課方式の統一を行うため、資産割を廃止する必要があります。</p> <p>あわせて、国民健康保険の被保険者は減少傾向にあるが、医療費や県への事業費納付金は増加傾向にあるため、資産割の廃止による代替として所得割などの税率の改正が必要とあります。</p> <p>税率の改正により、過度な負担にならないように、国民健康保険運営協議会に諮りながら慎重な対応を行います。</p>

## 令和4年度の監査指摘事項に対する措置状況について

税務課

令和4年度の定期監査において、監査委員が指摘（意見・要望）した事項に対する措置状況

監 査 指 摘 事 項	措 置 状 況
<p>確定申告相談については、現在当日受付となっていることから、早朝からの受付予約の混雑、申告相談までの待ち時間や再来庁などの不都合が生じている状況である。このため、今年度からインターネット等による事前予約を実施し改善を図っていくとのことである。今後も申告者の利便性の向上や事務の効率化に努めていきたい。</p>	<p>令和4年分（令和5年2月申告）の確定申告から、インターネット・電話による事前予約を導入し、予約開始日から多くの申告相談者から予約の申請がありました。</p> <p>事前予約については、初めての取組であり、予約初日には、電話の集中・ネット予約操作において、市民からの問合せがありました。大きな混乱もなく予約受付ができました。</p> <p>2月16日からの確定申告相談についても、早朝からの順番待ちも発生することなく、確定申告相談を終了しました。</p> <p>今後も、申告者の利便性の向上、事務の効率化を図っていきます。</p>

## 令和4年度の監査指摘事項に対する措置状況について

社会福祉課

令和4年度の定期監査において、監査委員が指摘（意見・要望）した事項に対する措置状況

監 査 指 摘 事 項	措 置 状 況
<p>市民後見人育成事業により、令和2年度より吉田町と合同で市民後見人養成講座を実施し、4人の市民後見人候補者が登録されている。今後においては、この候補者を市民後見人に育成していくことになることから、実践的な研修の実施とその支援等に努めていただきたい。</p>	<p>市民後見人候補者については、社会福祉協議会で実施している日常生活自立支援事業や法人後見の支援員として活動しながら実務訓練を実施しており、司法書士、社会福祉士などの専門職で構成される個別支援部会において協議し、市民後見人として受任できるよう進めております。また、成年後見サポートセンターにおいては、市民後見人として登録された方に対して指導、支援できるよう努めております。今後も、市や成年後見サポートセンターとで支援していくとともに、新たな市民後見人の育成に取り組んでいきます。</p>

## 令和4年度の監査指摘事項に対する措置状況について

子ども子育て課

令和4年度の定期監査において、監査委員が指摘（意見・要望）した事項に対する措置状況

監 査 指 摘 事 項	措 置 状 況
<p>(1) 低年齢児の保育園、幼稚園への入園希望が増えていることで必要とする保育士の確保が難しく、保育現場への十分な人事配置に苦慮している状況である。このため、保育士の確保については市単独ではなく、近隣の市町と連携しながら国県に対して要望するなどの対応をお願いしたい。</p> <p>(2) 通園バス置き去り事件を受けて、市内の全施設においても安全管理マニュアル等に基づき、確実に運営されているかについて確認をお願いしたい。</p>	<p>(1) 保育士等人材確保につきましては、牧之原市内の保育園等で働く保育士等の就業を奨励するため給付金を創設するなど取り組んでいきます。また、国県等に対しても、環境を整えることにより保育士等として長く働くことが出来るよう要望を検討していきます。</p> <p>(2) 市内の保育園等の安全管理につきましては、通園バス置き去り事件を受けまして、市内全保育園等に対して緊急の安全管理体制の一斉点検を行いました。保育園、認定こども園は県の指導監査、小規模保育事業につきましては市の指導監査を年に1回行っておりますが、必要に応じて、園児の安全管理体制の確認を追加で行ってまいります。</p>



## 令和4年度の監査指摘事項に対する措置状況について

こどもセンター

令和4年度の定期監査において、監査委員が指摘（意見・要望）した事項に対する措置状況

監 査 指 摘 事 項	措 置 状 況
<p>こどもセンターの設置から3年が経過した。設置当初は、未就学児を対象とした事業が主であったが、現在は学齢児まで支援の対象を広げている。今後についても、各児童施設の保育士や支援員等を対象とした支援者の育成事業に取り組むなど、より一層の事業の拡充に努めていただきたい。</p>	<p>こどもセンターでは、発達に課題のある子どもへの支援について早期発見・早期療育を目標に、未就学児を対象とした事業を継続して実施する。学齢期として現状実施している支援の事業化を目指し、学校教育課と調整をしていきます。</p> <p>特に、学齢期支援として実施した検査結果の活用には保護者の同意の上、家庭で出来ることを伝え、身近な支援者として教職員たちにも共有して児童生徒への支援が出来るような仕組みを構築していきます。</p> <p>支援者のための育成事業については、発達支援セミナー、スキルアップ研修の質を向上し、園巡回事業も継続することで切れ目ない支援をしていきます。</p>

## 令和4年度の監査指摘事項に対する措置状況について

健康推進課

令和4年度の定期監査において、監査委員が指摘（意見・要望）した事項に対する措置状況

監 査 指 摘 事 項	措 置 状 況
<p>市内に診療所を開設する医師や医療法人に対し、開設等に係る費用の一部を助成する事業のPRについては、コロナワクチン接種会場で外部派遣医師へ行っている他、市内出身の医師に対してのアプローチや、榛原総合病院と連携して医師確保に向けた動きの中で補助金制度の周知を行っている。今後も地域医療の確保のため、事業推進に努めていただきたい。</p>	<p>医師に対する周知については、補助金制度を周知するパンフレットを作成し、市内医療機関や全国大学病院、医師紹介業者への啓発を始め、新型コロナワクチン集団接種に従事していただいた、市外や県外にお勤めの医師に対して、市の観光やウェイブプールなどの案内と合わせて、補助金制度の周知を行っています。個別に丁寧に対応することでコミュニケーションが図られ、その後も医師から相談が寄せられるなど、個別のアプローチは有効な方法であると考えております。</p> <p>今後も、これまでの取組を引き続き実施するとともに、市の魅力発信と組み合わせた新たな周知方法の検討を行い、これまで以上に医師が補助制度を利用しやすくなるような情報発信に努めていきます。</p>

## 令和4年度の監査指摘事項に対する措置状況について

長寿介護課

令和4年度の定期監査において、監査委員が指摘（意見・要望）した事項に対する措置状況

監 査 指 摘 事 項	措 置 状 況
<p>介護保険料や公費が財源である介護給付費は、年間約40億円で年々右肩上がりの傾向にあり、その負担は市財政への大きなリスクとなっている。このため、適切・適正な給付に繋がると考えられるケアプランの点検等を継続的に実施していくとともに、アクティブシニア活動支援事業や総合支援事業により、元気な高齢者を増やしていく取組みについても積極的に推進していただきたい。</p>	<p>令和7年には、団塊の世代が75歳を迎えることもあり、今後も介護サービス需要が増加する見込みです。介護サービスは、利用者やその家族の生活を継続する上で欠かせないものです。</p> <p>そのためにも、介護サービスが安定的・継続的に提供できるように、介護支援専門員が作成したケアプラン内容の点検及び助言を行い、より適切なケアプランが作成されるよう継続して支援していきます。また、フレイルの予防や、要介護者であっても状態が悪化しないよう重度化防止に取り組んでいきます。</p> <p>元気な高齢者を増やす取組みは、ここ数年コロナ過により、事業の停滞もありましたが、アクティブシニア活動支援事業の再開や総合支援事業の充実を進めていきます。</p>

## 令和4年度の監査指摘事項に対する措置状況について

農林水産課

令和4年度の定期監査において、監査委員が指摘（意見・要望）した事項に対する措置状況

監 査 指 摘 事 項	措 置 状 況
<p>本年度は2名の就農者に対し、農業次世代人材投資事業交付金を交付し、就農後の支援を行っている。今後についても、地域農業の担い手となりうる新規就農者への支援を農林事務所、JA等の関係機関と連携し実施していくとともに、新規就農相談の際には当事業のPRを積極的に行うことにより、事業の促進に努めていただきたい。</p>	<p>農業従事者の減少により、市内農業は厳しい状況にあります。新規就農者を増やすため、他業種からの就農希望相談を受ける際には、補助事業を活用した就農時の支援について説明を行っております。令和4年度より従来制度に代わる新規就農者育成総合対策事業が始まっており、就農者の状況により新制度を使い分け、就農者の定着に向け支援していきます。</p> <p>また、就農後につきましても、農林事務所、JA等の関係機関と連携し、定期的に営農指導や相談を実施し支援していきます。</p>

## 令和4年度の監査指摘事項に対する措置状況について

お茶振興課

令和4年度の定期監査において、監査委員が指摘（意見・要望）した事項に対する措置状況

監 査 指 摘 事 項	措 置 状 況
<p>効率的な茶園管理の必要性やコスト削減による茶業経営の安定化を図るため、基盤整備事業をより一層推進していただきたい。また、消費者ニーズに応じた商品のPR、需要の掘り起し、意欲のある茶業関係者への支援を行うことで静岡牧之原茶の認知度向上に努めていただきたい。</p>	<p>ほ場を集積することで得られる省力化によるコスト削減を図るという観点からも、農業者の意向を踏まえ、今度とも基盤整備事業を促進していきたいと考えております。</p> <p>静岡牧之原茶の認知度につきましては、首都圏でのイベントやSNSでの情報発信、茶業振興協議会からの茶業関係者への支援を通じて向上に努めていきます。</p>

## 令和4年度の監査指摘事項に対する措置状況について

商工観光課

令和4年度の定期監査において、監査委員が指摘（意見・要望）した事項に対する措置状況

監 査 指 摘 事 項	措 置 状 況
<p>シルバー人材センターへ委託している海水浴場関係の業務については、前年度の業務内容を組み換えして契約を行っており、契約額ベースでの前年度との比較が分かりにくい。このため、業務内容を組み換えした理由や委託費の積算根拠を説明できる資料等について整理しておいていただきたい。</p>	<p>令和3年度までは「駐車場料金徴収」「トイレ等清掃」「海岸等清掃」を一括でシルバー人材センターへ委託していましたが、「海岸漂着物等対策事業費補助金」に該当する業務を明確に区分けするため委託内容を組み替えました。</p> <p>委託費の根拠は例年と同様の人件費単価から作業時間を積算したものになります。</p> <p>根拠資料について整理しました。</p>

## 令和4年度の監査指摘事項に対する措置状況について

企業立地推進課

令和4年度の定期監査において、監査委員が指摘（意見・要望）した事項に対する措置状況

監 査 指 摘 事 項	措 置 状 況
<p>スズキ株式会社相良工場の拡張事業については、基本協定が締結され、県事業に移行した状況ではあるが、市から手が離れたわけではなく、用地売買契約等の事務、県・地権者のパイプ役など、事業窓口としての役割を担うことになることから、事業推進の先導役となり尽力していただきたい。</p>	<p>スズキ株式会社相良工場の拡張計画については、県企業局事業として、令和5年1月30日に地権者に対し、今後の進め方等について説明会を行いました。引き続き、地権者には丁寧な対応を心掛け、県と地権者の調整役として円滑に事業が進むよう努めていきます。</p>

## 令和4年度の監査指摘事項に対する措置状況について

教育総務課

令和4年度の定期監査において、監査委員が指摘（意見・要望）した事項に対する措置状況

監 査 指 摘 事 項	措 置 状 況
<p>学校再編による義務教育学校が開校されるまでの各学校校舎及び付帯設備等の維持管理については、修繕計画等を作成し、適切に対応していくことにより、生徒・児童が学習に集中できる環境の維持に努めていただきたい。</p>	<p>義務教育学校が開校するまでの間も学校施設の適切な維持管理を行わなければならないことから、今年度、学校施設修繕計画を作成しました。</p> <p>この計画に基づき、令和5年度の当初予算に学校施設保全改修事業を新たに設け、児童・生徒が学習に集中できる教育環境の更なる維持に鋭意努めてまいります。</p>



## 令和4年度の監査指摘事項に対する措置状況について

学校教育課

令和4年度の定期監査において、監査委員が指摘（意見・要望）した事項に対する措置状況

監 査 指 摘 事 項	措 置 状 況
<p>学校教育において ICT を活用し展開していくには、教師の能力が相当に求められるが十分にスキルが備わっていないという課題がある。そのため、ICT 教育を推進するための実務的な支援を行う「ICT 支援員」を授業・校務の支援やネットワーク等の準備・操作の補助として効果的に活用していただくことで課題の克服と教師の負担軽減に繋げてほしい。</p>	<p>令和4年度より配置した「ICT支援員」の効果的な活用については、月末毎に「ICT支援員」を集め、報告と情報共有を行っている。そこでは、全校で共有して実践すること、学校独自の支援等、学校教育課指導係と連携しながらの取組を今後も継続していきます。</p> <p>また、各校から I C T 研究員ならびに I C T 推進員を推薦していただき、年4回実施する市 I C T 研究員研修会において、授業における一人一台端末の効果的な活用方法や情報モラルについての研修を深め、校内 I C T 推進員とともに、教職員の I C T 活用能力の向上を今後も図っていきます。</p>

## 令和4年度の監査指摘事項に対する措置状況について

社会教育課

令和4年度の定期監査において、監査委員が指摘（意見・要望）した事項に対する措置状況

監 査 指 摘 事 項	措 置 状 況
<p>図書交流館「いこっと」には、当初の予想を大幅に上回る来館者があり、1周年を待たずに10万人を達成（R4.2）している。今後においても市民からの期待を受け、蔵書数を増やし、貸出数・利用者数の増加に向け取り組んでいきたい。また、榛原図書館においても、図書機能に係る市民ニーズに応えられるよう、規模や機能を拡充する整備工事の実施に向け推進していただきたい。</p>	<p>本市の図書館事業については「牧之原市立図書館基本計画」に基づき、図書資料の充実と合わせて、発見・驚きのある講座やイベントの開催の実施により、貸出数・利用者数の増加を図っていきます。</p> <p>また、榛原図書館においても同計画の基本理念が実現できるよう、市民や関係団体と対話しながら、学びの環境と交流、憩いの場を構築していきます。</p>

## 令和4年度の監査指摘事項に対する措置状況について

学校再編推進室

令和4年度の定期監査において、監査委員が指摘（意見・要望）した事項に対する措置状況

監 査 指 摘 事 項	措 置 状 況
<p>令和4年度から新しい学校区ごとに、学校のコンセプト、校舎や体育館の機能と配置、通学方法などを定める学校再編計画基本構想・基本計画の策定に取り組んでいる。策定にあたっては、市民意見を反映できるワークショップ等の方法を取り入れ、各地域に適合する安心安全で教育活動がしやすい施設をつくることができるよう進めていただきたい。</p>	<p>令和5年度末までに策定する学校施設整備基本構想・基本計画については、多くの皆さまの意見を反映し、地域に適合した安心安全な施設の計画となるよう、様々な検討の機会を設けていきます。</p> <p>策定にあたっては、令和4年度から専門家、保護者、学校関係者、企業等で構成する新しい学校づくり検討会を設置し広く関係者で検討を進めています。検討する際には、市民アンケートやワークショップを随時実施しながら議論を深めていきます。</p> <p>また、各地域に適合する安全安心な施設となるよう、庁舎内においてもプロジェクトチームを立ち上げ検討を重ねています。</p> <p>これらを踏まえ、新しくつくる義務教育学校は、安全安心で、通いたい通わせたい働きたいと思われる施設となるよう進めていきます。</p>

## 令和4年度の監査指摘事項に対する措置状況について

スポーツ推進課

令和4年度の定期監査において、監査委員が指摘（意見・要望）した事項に対する措置状況

監 査 指 摘 事 項	措 置 状 況
<p>多目的体育館整備事業は、令和3年度から令和5年度までの3年間で約28億円の事業費を見込んでいる。このため、計画的に施設整備を進めていただき、本格的なスポーツに触れられる、にぎわいのある施設となることを期待している。また、ゼロカーボンに自治体が率先して取り組むことを示す先導モデル施設として「ゼブ・レディ」（エネルギー消費量を省エネ設備等により50%以上削減）での整備を推進していただきたい。</p>	<p>多目的体育館整備事業については、施工事業者や指定管理候補者と定期的な会議を開催し、適切な進捗管理に取り組んでいます。今後は、指定管理候補者と連携を図り、各種スポーツ教室の開催、トップアスリート等の試合を誘致し、賑わいある施設になるよう準備を進めています。</p> <p>また、ゼロカーボンについては、関係機関と連携を図り、公共施設の「脱炭素」の先導モデルとして「ゼブ・レディ」での整備を進めていきます。</p>

令和4年度の監査指摘事項に対する措置状況について

会計課

令和4年度の定期監査において、監査委員が指摘（意見・要望）した事項に対する措置状況

監 査 指 摘 事 項	措 置 状 況
<p>伝票の誤りについては、コメント等を付けて修正指示をするなど、再発防止に努めている。また、伝票審査の問題点については、課員全員で検討し、審査基準の統一を図っている。今後も、会計規則や会計事務処理要領、伝票起票マニュアル等に則り、適正な事務処理に努めていただきたい。</p>	<p>会計規則や会計事務処理要領、伝票起票マニュアル等の見直しを行い、審査基準の統一を図っていきます。 審査において的確な指導が出来るよう、知識向上に努めていきます。</p>

## 令和4年度の監査指摘事項に対する措置状況について

議会事務局

令和4年度の定期監査において、監査委員が指摘（意見・要望）した事項に対する措置状況

監 査 指 摘 事 項	措 置 状 況
<p>若年層にも議会の活動を知ってもらえるよう市議会ホームページやフェイスブック、市LINEなどを活用した情報発信を行っている。今後も、多層の市民に向け、市議会の情報を様々な媒体を通じて発信し、議会基本条例の基本理念である市民に開かれた議会の実現のため、議会と一体となって取り組んでいただきたい。</p>	<p>議会の活動については、随時、多様な情報ツールを活用して議会情報を市民に発信しており、議場に来ることができない市民もスマートフォン等で情報を見ることができるようにしておりますが、ライブ配信の導入については議場音響システムの改修が伴うため、費用対効果の観点から検証が必要であります。</p> <p>今後も、市民にとって身近な市議会・開かれた市議会となるよう、積極的な情報発信に努めていきます。</p>

## 令和4年度の監査指摘事項に対する措置状況について

監査委員事務局

令和4年度の定期監査において、監査委員が指摘（意見・要望）した事項に対する措置状況

監 査 指 摘 事 項	措 置 状 況
<p>監査委員の職務を忠実に補助遂行するためには、事務局職員の能力及び知識の向上が求められる。今後においても、県内の監査委員事務局で組織する事務研究会などで情報交換や課題・問題等を情報共有するなど、専門知識の習得に努めていただきたい。</p>	<p>県内の監査委員事務局で組織する事務研究会では、課題・問題等に対して各市で情報共有を行っております。また、本年度は職員研修としてオンライン方式の講演会を当市で開催し、専門知識の習得に努めております。</p>